

令和 元 年度 福岡市立 [壱岐南小] 学校 学校評価実施状況(公表用)

めざす学校像・子ども像・教員像		課題	今後の改善方策
<p>○共育「チーム壱岐南」で課題を共有し、解決に取り組む信頼され、魅力ある学校</p> <p>○笑顔かがやき、元気いっぱい、いきいきと学習する子ども</p> <p>○「授業力」「学級経営力」「参画意識」の向上を目指して努力し、協働して取り組む教員</p>		<p>学力の向上</p>	<p>・授業力向上を目指した少人数グループ(4～5名)編成による授業研究会を日常的に行う。</p> <p>・ドリル的なものから、授業から生まれた疑問や発展的な内容へと宿題の出し方をシフトさせる。</p>
		<p>毅然とした生徒指導</p>	<p>・ダメなものはダメという毅然とした生徒指導を全学級に徹底させる。</p> <p>・学級の枠を超えて学年や専科教員を含めたチームとして、足並みをそろえた生徒指導を徹底させる。</p>
		<p>働き方改革</p>	<p>・週時程の見直しによって教材研究や学級事務の時間を増やし、勤務時間内に仕事が終われるようにする。</p> <p>・一部教科担任制の導入により一人当たりの受け持ち教科数を減らし、教材準備や評価の負担軽減を図る。</p>
重点目標	指標(取組指標・成果指標)	達成状況についての説明	
<p>○一人ひとりの学力課題に応じた指導で確かな学力を育成する。</p>	<p>・新学習指導要領の趣旨に則り、「主体的、対話的で深い学び」を具現化した授業研究会を全学年で実施する。</p>	<p>・夏季休業中に全教職員が新学習指導要領の趣旨を独自に研修し、2学期以降の授業実践に生かすことができた。</p>	
	<p>・低学力の子どもたちへの支援として、TT授業、分割学習、習熟度別学習を各学年の算数で実施する。</p>	<p>・指導方法工夫改善担当を中心として専科教員が、算数科において学級担任と連携し、効果的な指導を行うことができた。</p>	
	<p>・福岡市学習定着度調査等で前年度の成績を上回る。</p>	<p>・4～6年生において、前年度を上回った学年が2学年、下回った学年が1学年であった。</p>	
	0		
<p>掃除活動を充実させることによって、協力と奉仕の精神を育てる。</p>	<p>・全職員で掃除の仕方を共通理解することによって、組織的な清掃指導を充実させる。</p>	<p>・2学期以降に縦割り清掃を導入したことによって組織的な指導体制が取れるようになり、校内が見違えるように美しくなった。</p>	
	<p>・全児童に掃除が学校の重点目標であることを認識させ、がんばっている子どもを称賛する取組を継続する。</p>	<p>・全校朝会や学校だより、掲示板を利用して掃除をがんばっている子どもを称賛し、意欲喚起につなげることができた。</p>	
	<p>・掃除実施状況調査を実施し、合格率を10%上昇させる。</p>	<p>・掃除実施状況調査の合格率が年度当初より17%上昇した。</p>	
	0		
<p>体験的な活動の充実によって、子どもたちの自尊感情、他者理解を高める。</p>	<p>・年間教育指導計画作成にあたって、体験的な活動を幅広く取り入れていく。</p>	<p>・年間教育指導計画に位置付けた体験活動は、例年並みにとどまった。</p>	
	<p>・<small>語芸</small>意識において子どもの変化や気になる行動について交流し、努力をしている子どもに称賛の声かけを全職員で行う。</p>	<p>・気になる子どもの情報共有は頻繁に行うことができたが、がんばっている子どもについての情報共有が不十分であった。</p>	
	<p>・QUテストで、自尊感情・学級に対する意識の項目で肯定的回答をする子どもの割合が前年度を上回る。</p>	<p>・5・6年生において、前年度を上回った学年が1学年、下回った学年が1学年であった。</p>	
	0		
学校関係者評価についての説明(評価委員からの意見・要望・改善に向けた提言等)			
<p>・街で会ったときに気持ちよく挨拶してくれる子どもが増えてきた。</p> <p>・縦割り掃除を取り入れたことで学校がきれいになった。また、異学年交流という意味からもよかったと思う。</p> <p>・国語科の学力が思わしくないのは、新聞や本を読まないことも原因の一つではないか。</p> <p>・管理職だけでなく多くの先生方にもっと地域とかかわってもらえると、学校地域が一体となり、さらに子どもたちへの教育が充実すると思う。</p> <p>・子どもたちと向き合う時間の確保、はつらつとした先生の姿のためにも働き方改革を推進してほしい。</p>			